

平成24年度鳥取県予算案から

平成24年度の鳥取県予算案が発表されました。今後、議会において審議されることとなります。

そのなかで、林業関係の注目すべき予算を取り上げてみました。

間伐材搬出促進事業

1 事業概要

○間伐の実施、間伐材の搬出を促進し、もって本県における健全な森林の育成、資源の有効利用を図るため、間伐材の搬出に要する経費に対し、助成を行う。

- ・対象樹種 スギ、ヒノキ
- ・補助率 定額3,800円/㎡
- ・事業対象者 森林所有者、森林組合並びに素材生産者を営む者及びその組織する団体
- ・補助対象経費 間伐材を山土場から市場・製材加工施設等へ運搬するのに要する経費
- ・事業実施期間 平成24年度

2 現状・背景

○山土場から市場・製材加工施設等へ木材を搬出する経費は、2年前と比較し低コスト施業の効果等から幾分低減の傾向がみられるが、依然林業経営環境は非常に厳しい状況である。

○ここ数年の間伐量は増加傾向にあり、本事業による効果が非常に大きいものと思料される。

○引き続き間伐搬出が実施され、事業効果を発現させるためには事業を実施し、間伐搬出意欲を減退させないようにする必要がある。

○利用間伐実績に占める本事業の活用率は増加傾向にあり、平成22年度は活用率がほぼ100%となっている。

○平成22年度に完成した路網整備事業などの作業道開設箇所からの間伐搬出見込量の増加や木材市場での取扱量の増加傾向により、平成24年度事業見込量は平成23年度実績見込と比較して1.2倍となっている。

○事業主体からは本事業により経営が成立しているなど、事業継続を求める声が多い。

3 事業内容

- 事業量 172,956㎡ (H23当初予算 143,887㎡)
- 事業費 ・補助金 657,233千円 (補助単価3,800円/㎡)

事業効果等

○目的

- ・間伐の推進
- ・木材資源の有効利用

○効果

- ・森林所有者の間伐意欲が向上
- ・素材生産業者の原木生産活動意欲が向上
- ・雇用の創出
- ・県産材の安定供給
- ・CO2の吸収・固定機能の増大

これまでの取り組み状況

森林の保全・整備の促進

造林事業等の助成制度のPR 目標：4,200ha/年

<取組状況>

- ・間伐面積の拡大と間伐材の有効利用の推進を目的に、平成13年度から実施しており、低コスト林業施策との相乗効果で近年事業量が増大
平成13年度：34,212㎡
平成22年度：105,661㎡ (対13年度比3.1倍)
平成23年度：154,119㎡ (見込み・対13年度比4.5倍)
- ・これに伴い、従来は林内に切り捨てられていた間伐材の有効利用が促進され、県産木材の出材量の拡大に大きく寄与している。

これまでの取り組みに対する評価

・利用間伐実績に占める本事業の活用率は、平成22年度はほぼ100%でほとんど本事業が活用されている状況から、間伐の推進、木材資源の有効利用等の事業効果における原動力となっている。

・しかし、事業主体は非常に厳しい経営環境にさらされており、引き続き間伐及び間伐材利用を推進するうえで同程度の内容の助成での事業継続を求める声が強い。

